



浅見みどり通信

日本共産党東村山市 新人市議会議員（3年目突入）



12月議会 一般質問のご報告①

発達障がい児支える特別支援教室 期間・教員配置の維持・向上を

特別支援教室は、発達に課題がある子のための教室で、週1～2回、その子に合った課題を学びます。

市内には特別支援教室けやき(小学校)、アーチ(中学校)が全校に設置され、拠点校(小学校5校、中学校1校)の担当教員が、学校を巡回して指導にあたっています。

利用する子は年々増えており、市内では約350人の子ども達が利用しています。

東京都が突然表明した2つの基準引き下げ

東京都が示した1つ目の基準引き下げは、指導期間です。原則1年、最長2年で退室という新たな基準に対して、関係者からの批判が高まりました。最終的に、都は「これまで通り2年以上の在室も認める」と変更しました。

市議会では、「在室期間はその子に応じて判断し、無理に退室させない」という東村山市の答弁があり、ほっとしました。市の対応は「発達障害は年齢が上がる新たな

課題が出る場合がある」「退室させられたら必要な支援が途切れる」という関係者の不安に応えるものです。

2つ目は、教員配置基準の引き下げです。東京都は、これまで子ども10人に対し1人の先生を配置してきましたが、来年度から子供12人に教員1人へと教員の配置人数を減らします。東村山市でも小中学校で6名の先生が減らされる見込みです。議会では、教員配置維持の要望を東京都に伝えていると答弁がありました。

東京都は、減らした特別支援教室の先生を普通学級に回し、少人数学級に対応しようとしています。少人数学級は、特別支援とは別に予算を増やして進めるべきです。

教員配置の引き下げによる子ども達への影響が心配です。日本共産党都議団と連携して、子どもの発達に応じた教育のために力を尽くします。



12月議会 一般質問のご報告②

3歳保活をなくしたい

0～2歳の子どもが通う小規模保育園。卒園後の預け先が保証されていない実態は「3歳の壁」とも呼ばれています。

東村山市は、待機児童解消のために、小規模保育園を増やしてきました。来年3月に卒園する2歳児は121人の見込み(11月時点)です。ところが、3歳児から入園できる保育園/認定こども園の欠員数は68人見込み(10月時点)となっており、

卒園児の約半数しか空きがありません。



小規模保育園には、連携する保育園に入園できる「卒園児優先枠」がありますが、どの施設も1名程度の枠しかなく、卒園児全員は入園できません。

また、幼稚園に入園すると、待機児としてはカウントされないため、市が公表する3歳児以上の待機児童は1名のみです。

「保育園に入れなくて仕事をあきらめた」「小規模園に通えていても5歳までの保育園に転園届けを出している」という声もうかがいます。3歳の壁を感じなくて済むような保育の仕組みを求めて今後も活動します。



#困った時は共産党に相談しよう

浅見みどりの連絡先

メール kwiiykchan@tbz.t-com.ne.jp

電話 [080\(3086\)2422](tel:080(3086)2422)

☆市役所窓口、ほっとシティ、社会福祉協議会等への同行致します。

☆自分が使える制度が分からない、申請書類がうまく書けない、相談先が分からない方、お気軽にお声掛けください。

☆ご一緒に解決策を探します。

【生活保護は権利です】

☆年金を受け取っていても、仕事があっても、最低生活費に満たない方は使えます。扶養照会は義務ではありません。

生活保護は、憲法25条で保障された権利。あなたの暮らしを立て直すことはあなた自身だけでなく社会にも大事です。